

・ ・ 西高宅配便 ・ ・ ・ N O 6

7月5日

ハットする話

「トイレに鳩がけっこう入って来て、フンをしているんですが、ご存知ですか。掃除がまた大変でして、3F, 4Fのトイレは窓を開けっぱなしにしないように生徒に伝えてください。」と、ある朝、元ソージ大臣の赤嶺先生が打ち合わせで注意喚起を。

「地学教室なんか、いつの間にかハトが巣を作って卵があつてさあ、ビックリやで。近づくと親が攻撃してくるんさ。卵、かえるかも知れんで・・・。」という声もあつて、えらい事になっています。

さて、赤嶺先生。彼のことで、みんな「これで終わる訳ない！」ってなことで耳を澄ませて集中。さて、何を言うのか、どんなギャグが来るのか・・・、と身構えると、来た、来たー！「フンガイには、フンガイしています。ハト迷惑な話で・・・。」もちろん、おわかりですね。

「糞の害」に「憤慨」し、「ハタ迷惑な話」と「ハトで迷惑な話」をかけてるんです。最近では師匠（失笑では、ありません！）と呼ばれ、まんざらでもない名物先生です。